

# 就学前のお子さんが おられる保護者の皆様へ

八幡市教育支援委員会

お子さんが保育園、認定こども園、幼稚園の年長組になり、そろそろ小学校への入学を考える時期になりました。

「わが子はスムーズに小学校生活がスタートできるだろうか？」

「勉強についていけるだろうか？」

「友達と仲良く遊べるだろうか？」

・ ・ 等々、心配なことが頭をよぎります。

小学校という、より大きな集団の中で、環境の変化にうまく適応できればいいのですが、中にはうまく適応できずにいる子どもも少なからずいます。

お子さんが小学校へ入学することは、保護者の皆様にとっても大きな出来事です。この節目となる時期に、お子さんの成長や発達について見つめ、考えることはとても大切です。

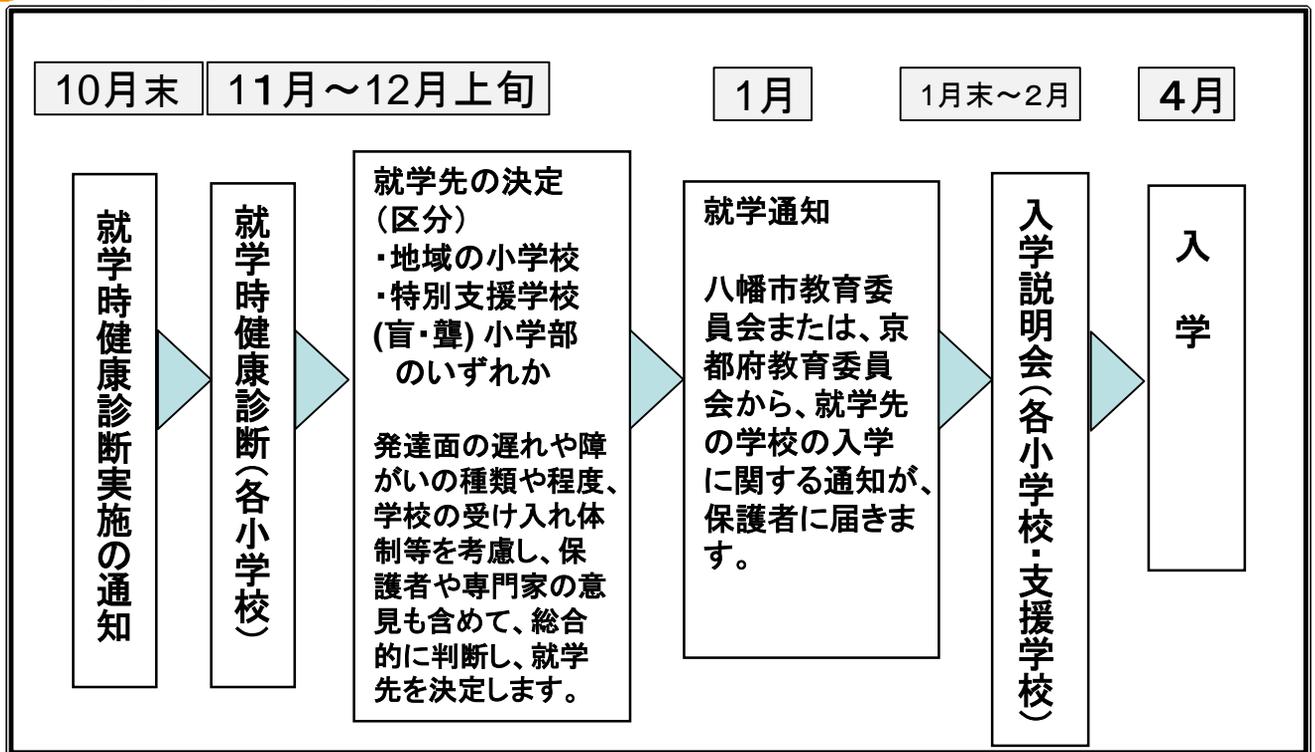
小学校生活をスムーズにスタートさせるためには、お子さんの発達面や行動面などをしっかり見つめ、心配な点があれば、就学先の学校にきっちり伝え、学校と保護者の共通理解のもと、課題解決を図ることが大切です。



## 不安や悩み等を相談する場として

- ①八幡市教育支援委員会が行う、就学前5才児対象の教育相談があります。お子さんの発達面や行動面など、様々な面から特徴をとらえ、適切な支援の方法や学習の場について相談員と話し合い、お子さんに最適の就学先(小学校の通常の学級か支援学級、または府立の支援学校等)について考えていきます。(相談申込書は、4月中にお子さんの所属園を通して配布します。)
- ② 11月に就学先の小学校で実施される就学時健康診断や1月末～2月始めに行われる各小学校の入学説明会の相談コーナーを利用して、直接学校と相談することができます。食物アレルギー等で配慮が必要な方は、この機会に相談してください。(開催期日は、教育委員会から通知が届きます。)
- ③病弱や心身に重い障がいがある等で、支援学校への就学を視野に考えておられる場合は、毎年6月に支援学校で行われる学校説明会や10月に実施される体験学習の相談コーナーを利用して相談できます。  
(開催期日等は、各自で支援学校へ問い合わせさせていただくか、お子さんの所属の園で聞いてください。)

# 就学までの流れ



## 大事なポイントー就学先を選ぶときー

地域の小学校か、府立の支援学校か。また、小学校でも通常の学級と支援学級という選択肢があります。さらに、子どもの発達課題や特性に応じて、週に1～2回程度、通級指導教室(ことばの教室)で指導を受けたり、学校によっては、特定の教科や時間に別室で個別指導を行っているところもあります。また、入学時は支援学級に在籍し、小集団の中で子どもに合ったスピードや個に応じた指導で、その後、状況が改善して通常の学級に移ることもあります。

いずれにしても、すべての子どもに当てはまる唯一の答えはありません。周囲の目や偏見などに惑わされることなく、子どもにとって安心して無理なく学べる場はどこか、個々の特性や能力に応じた最適の環境を選べるように現実的な視点で考えましょう。

## 支援学校、支援学級、通常の学級など…どこが違うの？

**支援学校**：一人一人の障がいの特性や能力に合った指導内容、指導時間(時間割、授業の区切り)を設定し、個に応じたきめこまかな指導や支援を受けることができます。

**支援学級**：授業の区切り(チャイム)は、学校の授業時間と同じですが、少人数で一人一人の能力やスピードに合った学習内容で、個に応じた指導を受けることができます。

**通常の学級**：既定の教科等による時間割に基づいて、クラス全員の一斉指導の中で、各学年の指導計画に沿った通常の学習内容の授業を行います。

**通級指導教室**：通常の学級に在籍する、比較的軽い障がい(構音や自閉性など)がある児童生徒に対して、教科学習でなく課題の改善に向けた特別な指導を受けるための教室です。教科学習は通常の学級で行い、週に1～2時間程度、通級指導教室に通って指導を受けます。